

海風

UMIKAZE

Vol. 04

Chiba-Minato Rehabilitation Hospital Report



Contents

- 2P 平成26年度千葉地区3病院合同忘年会
- 3P みなと日記
- 4.5P みなとりハの行事2014・2015、行事食
- 6P リハビリテーション療法の紹介、薬局紹介
- 7P 山田達夫の健康コラム



平成26年度 千葉地区 3病院合同 忘年会

12月13日(土)



みなと体操第一



中野 関東統括本部長

八千代&松戸&千葉みなとの千葉地区3病院合同忘年会をアパホテル東京ベイ幕張ホール(千葉市美浜区)にて開催いたしました。

参加者は来賓者も含めてなんと約530名!みなと職員も約165名が参加いたしました。

普段、ユニホームで頑張っている職員も今日はスーツやワンピースで華やかに変身し、楽しい会話やおいしい料理を堪能しながら、終始とても楽しい雰囲気でも盛り上がっていました。

各病院、趣向を凝らした余興コンテストでは、片山院長、柴橋副院長まで踊りだし、なんと看護部長にいたっては顔にペイントし、今、大人気のジパニヤンに変身(笑)。その努力もあり、我が千葉みなとは優勝は逃したものの堂々の第2位の結果に、スタッフ一同、寝る間も惜しんで頑張った甲斐がありました。

この忘年会で発揮したチームワークを原動力にして27年度も頑張っていきたいと思ひます。



「脊髄損傷について」勉強会 10月29日(水)

下関リハビリテーション病院 小川 浩一副院長より、脊髄損傷についてご講義を頂きました。

小川副院長ご自身の体験をもとに、とても解りやすい内容で専門スタッフから未経験の人まで理解のしやすい素晴らしい講義にスタッフ一同、夢中になって聞いていました。

効果的な指導方法がよく分かり、患者さまのリハビリの質向上に役立てていきたいと思ひます。



感染防止対策委員会 第1回勉強会 10月31日(金)

成田赤十字病院 感染管理認定看護師 小川 綾子先生、中村 明世先生にご講義を頂きました。

ノロウイルス対策について、おう吐物の正しい処理の仕方や感染対策のエプロン&手袋の装着方法などを実演指導していただきました。

実際に数人のスタッフがいつも通りに装着してみると、対応が不十分である事に気付き、驚きと新しい発見があり大変勉強になりました。

学んだ事を活かして、院内感染ゼロをめざして取り組んで行こうと思ひます。



医薬品の安全使用のための研修会 11月26日(水)

抗凝固剤についての研修会を開催しました。

非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症を抑制する薬剤の説明や、安全に使用するための用法や用量など詳細な説明もあり、投与する際の注意点を再確認することが出来ました。

日々、薬剤が進化して安全性で身体へのリスクが少ない製品が開発されているので、常に新しい情報を取り入れて、日々研鑽していきたいと思ひます。



内視鏡による脳外科手術の勉強会

11月27日(木)



千葉脳神経外科病院 五十嵐 琢司医師に、最近の脳外科手術についてご講義いただきました。

今までは、頭部を大きく開頭していましたが、内視鏡による手術により、頭部に小さい穴を開け患者様にも身体への負担の少ない手術が可能になっています。

実際の手術の様子を動画でご紹介いただき、素晴らしい技術を解り易くご説明いただきました。

病院スタッフ一同、今後も新しい治療法など知見を広めていきたいと思ひます。

義肢装具の勉強会

12月8日(月)



当院スタッフの理学療法士の井出 大輔さん、波多野 大祐さんによる義肢装具学会の報告と最新装具の紹介をして頂きました。

装具の進化は素晴らしく、厚生用装具TAPSから、ロボットスーツやリハビリテーションGearなどipadに底屈制動力や関節角度を表示や管理出来るようになってきました。

価格が高価な為、利用しやすい値段にするのが今後の課題になりますが、最近の動向を知り、今後当院のリハビリテーションに活かし、患者様にご提供出来ればと思ひます。

みなとリハの行事

2014
12.19
(金)

第1回地域評議員会



当院において第1回地域評議員会を開催致しました。
8名の評議員のうち、お忙しいにも関わらず5名の方にご参加いただき、病院概要の説明、職員の紹介、院内見学をしていただき、その後昼食を兼ねた懇親会を行いました。
患者様に、行き届いた医療を提供できるよう、病院の運営に関し貴重なご意見を頂けたらと思います。
地域評議員の皆さま、お忙しい中ご参加いただき誠にありがとうございました。

2014
12.25
(木)

平成26年クリスマス会



当院リハビリテーション室に於いて、ささやかですがクリスマス会を開催いたしました。

多くの患者様にご参加いただき、美しいフラダンスや、ハンドベルや楽器を使った、素晴らしい演奏&合唱を披露していただき、終始とても楽しい雰囲気でした。スタッフも、患者様の喜ぶ顔を思い浮かべながら、日夜練習&準備をして来た甲斐がありました。

患者様からは「とても楽しかった、元気を貰いました」など嬉しいお言葉も頂きました。

今後も、患者様参加型の楽しい企画をたくさん考えたいと思います。



2014
12.29
(月)

仕事納め



病院開院後初めての仕事納めを迎え、日々の頑張りを労うために昼食会を企画いたしました。

スタッフ一同、美味しい料理と楽しい会話に、終始和やかな雰囲気が進みました。

こうして仕事納めを迎えられたのも病院スタッフと関係者、地域の方々の協力があったものです。

平成27年度もより良い医療、良い病院作りにスタッフ一同頑張りたいと思います。



2015
1.8
(木) **新春餅つき**



正月には、一年の幸福を授けてくれる「年神様」が家々に降り立つと言われており、お餅でお迎えする意味があるそうです。
その縁起物のお餅を患者様とスタッフで力を合わせてつくることが出来ました。
リハビリが進み一日も早く日常生活が送れる事を願いながら患者様やご家族様、スタッフで、つきたてのお餅を美味しくいただきました。

2015
1.9
(金) **ニューイヤークンサート**



当院、リハビリテーション室に於いて、ニューイヤークンサートを開催いたしました。
今回のコンサートは患者様の喜ぶ顔が見たいという演奏者のお二人のご厚意によりボランティアにて開催して頂きました。
バイオリニスト恒岡真奈さんとピアニスト大塚美奈子さんが奏でる、素晴らしい音色に患者様やそのご家族様、スタッフ一同、心に残る演奏会となりました。

行事食

秋・和御膳

冬 クリスマス

正月・朝

正月・昼

正月・夕

クリスマス

正月・朝

正月・昼

正月・夕

正月・朝

正月・昼

正月・夕

正月・朝

正月・昼

正月・夕

リハビリテーション療法の紹介

~vol.3~



複合電気刺激治療器 アスピア



電流刺激療法として低周波療法、中周波療法、微弱電流療法、高電圧療法の多様な電流療法をひとつの治療器で行うことができ、より効果的な治療が可能となっています。

近赤外線治療器 スーパーライザー



あたたかい赤い光(近赤外線)で障害のあるところの血行を改善し症状を緩和してくれます。また、神経に直接作用してストレスなどで緊張している神経を平常な状態にもどすことにより関節痛、手足の血行障害、顔面神経麻痺、各種疾患の疼痛など多くの病気に治療効果を発揮します。

薬局紹介

薬剤科では現在4名の薬剤師で医薬品に関わる業務を行っています。

主な業務として退院時の薬の確認・説明、調剤業務、医薬品の管理業務、薬歴管理、DI(医薬品情報)業務等があります。

入院中、退院後に服用されているお薬のことでご不明な点や気になることがありましたら、薬剤科までご相談いただけたらと思います。



調剤室

この部屋で患者様のお薬の調剤を行っています。



第8回 山田 達夫の健康コラム



一般社団法人 巨樹の会 やまだ たつお
関東統括特別顧問 山田 達夫

一般社団法人 巨樹の会 関東統括特別顧問
神経内科認定医
昭和23年生まれ 山梨県出身
昭和49年：東京医科歯科大学医学部卒業
平成 9年：福岡大学医学部神経内科学教室 教授
平成23年：一般社団法人 巨樹の会 関東統括本部長に就任
平成26年：関東統括特別顧問に就任

小金井リハビリテーション病院における転倒予防の取り組み ごく少人数のマンパワー増加で転倒は1/2となる

今回はチョットした工夫によって転倒予防効果をもたらした小金井リハビリテーション病院からの報告を取り上げさせていただきます。各職場で是非参考にしてください。

小金井リハビリテーション病院
医療安全管理担当 伊藤 真理

研究の背景

関東カマチグループのリハビリテーション病院では医療安全委員会の取り組みの軸を転倒予防において、さまざまな分析や実際の予防の取り組みをおこなってきた。文献等で転倒予防活動として実際に効果をあげた取り組みは決して多く報告されていない。その理由は転倒には様々な内的外的要因が複合的に作用していることが多いことにある。今回のこの発表は誰でも予想できるマンパワー増加が、実際に転倒予防に効果を生むかどうかを検証したものである。

これまでの調査から、小金井リハビリテーション病院で転倒が頻発する時間帯は朝食前後(6時~8時)と夕食後(18時~20時)であることが示されていた。2013年1月~5月の期間で集計すると、早出・遅出時間の転倒率は2.0%/月、朝食前後と夕食後における転倒率は全転倒の54.4%であった。また、朝食前後の転倒場所は病室で、夕食後の転倒場所はデイルームであった。このような点から2013年度後半の医療安全の目標を「朝食前後と夕食後の時間帯の転倒数減少」とし、以下のような対策を構築した。

方法

2013年6月よりケアワーカー(CW)の早出(7時~15時30分)と遅出(12時30分~21時)勤務をそれぞれ1名から2名体制とするマンパワーの増加と業務内容の見直しを図った。朝食前後の6時~8時に関しては、早出CW1名は夜勤者とともに病室巡視を行い、更衣介助や排泄介助、デイルームへの誘導とコール対応を実施した。もう1名はデイルームの見守りを徹底した。夕食後の18時~20時に関しては、遅出CW1名は夜勤者と共に排泄介助、就寝準備とコール対応

を行い、もう1名はデイルームの見守りを徹底した。ちなみに2名のCWの増加はあくまでも配置転換内の対応である。

結果

2013年6月~2014年2月までの9ヶ月間において、早出と遅出時間の転倒率は1.0%/月に低下し(図1)、朝食前後や夕食後の時間帯での転倒割合は全転倒の34.7%/月に低下した(図2)。これは、マンパワーの増加と業務内容の見直しにより、患者様にスタッフが介入できる時間が増加し、転倒リスクの高い患者様への観察や介入が強化できた結果だと考えられる。すなわち看護部による転倒予防活動が活発になり、その結果が転倒数の減少にもたらされたと考えられる。

その結果、さらに進んで2013年10月から看護師の早出勤務が始まり、2014年2月からリハビリスタッフの早出・遅出勤務者が1名からそれぞれ2名体制となっている。このように看護部のみならず病院全体で転倒予防の取り組みのためのマンパワー充実を図ることで患者様の院内生活はより一層安全になると考える。

図1 早出・遅出時間の転倒率(%)

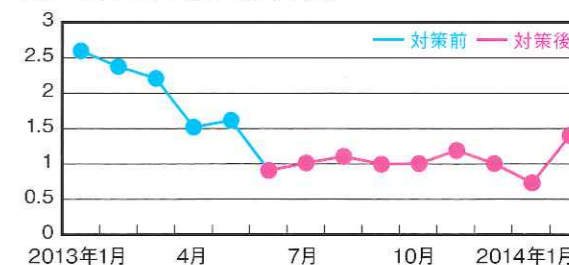
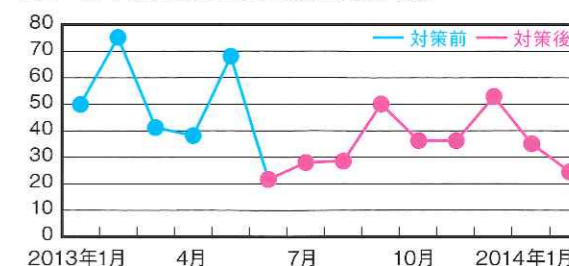


図2 早出・遅出時間にしめる転倒の割合(%)





内覧会及び開院式典のお知らせ

この度、原宿リハビリテーション病院が平成27年4月に開設することとなりました。地域の皆様に安全・良質な医療とリハビリテーションを提供することで、地域医療に貢献していく所存でございます。つきましては、地域の皆様や医療機関の方々をお招きし、内覧会及び、開院式典を開催いたしますので、お誘い合わせの上、お越しいただけますことを心よりお待ちしております。

内覧会

平成27年3月16日(月)～19日(木)、
23日(月)～27日(金)

担当者：医療連携室 高石・宇田

開院式典

平成27年3月21日(土)
内覧／10:00～12:00
式典／13:00 開式

担当者：藤井・宇田
※軽食も用意しております。
お気軽にお越しください。



一般社団法人
巨樹の会
原宿
リハビリ
テーション
病院

〈交通のご案内〉

山手線「原宿駅」表参道口下車 徒歩8分
地下鉄「明治神宮前駅」4番出口より徒歩4分
駐車場、駐輪場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

お問い合わせ先

一般社団法人 巨樹の会
原宿リハビリテーション病院
東京都渋谷区神宮前6-26-1
TEL 03-3486-8333
FAX 03-3486-8334

ホームページのご案内

病院の詳しい内容は、ホームページでご覧いただけます。ぜひご参照くださいませ。
グループ病院ホームページにもリンクできます。

千葉みなとリハビリテーション病院

検索

<http://minato-reha.com/>



千葉みなとリハビリテーション病院 広報誌

海 UMUKAZE 風 Vol.04

平成27年2月発行

企画
発行所

千葉みなとリハビリテーション病院
広報委員会

千葉県千葉市中央区中央港1丁目17番18号
TEL：043-245-1555 / FAX：043-245-1558



電車 千葉みなと駅(JR京葉線・千葉都市モノレール)より徒歩10分

バス 千葉駅西口・千葉ポートタワー行26番のりば「千葉みなとリハビリ病院下車」

